



THE Y'S MEN'S CLUB OF

NARA

奈良ワイズメンズクラブ

CHARTERD SEP. 14th 1950

C/O NARA YMCA, 2 Saidaji Kunimicho, NARA JAPAN

Phone No. 0742-44-2207 URL: <http://uchidakaikai.com/narawaizu/index.htm>

11月号

国際会長主題：『Go Ye All The World (全ての世界に出て行こう)』 国際会長 Poul V. Thomsen

アジア会長主題：『Start Future Now (未来を始めよう、今すぐに)』 アジア会長 岡野 泰和

西日本区主題：『Attend club meeting with a clear motive to make the most of them

(志を持って例会に参加し、学びの機会をもちましよう。)] 西日本区理事 高瀬 稔彦

阪和部主題：『Youth & Action (若さと行動 今こそ行動するとき)』 阪和部長 飯沼 眞

クラブ会長標語：『Go Back to Y'sdom (ワイズダム原点回帰)』 奈良クラブ会長 高橋 辰夫

11月例会

とき 2013年11月10日(月) 19:00~21:00

[月間テーマ]

ところ ピカピカ

Public Relations Wellness

プログラム

[今月の聖句]

司会：前田 敏宏

「だれかがあなたの右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい。
自分を愛してくれる人を愛したところで、あなたがたにどんな報いがあるか。」

1. 奈良クラブの歌

マタイによる福音書5章39・46節

2. 開会点鐘

日本基督教団奈良教会牧師 栗原宏介

3. ワイズソング

「やられたらやり返す、倍返しだ！」が流行語になっています。銀行を舞台にして“理不尽”に抗する人を描いた『半沢直樹』というドラマの中のセリフです。このドラマが高視聴率を記録し、「倍返し」が流行語となるという中に世の人々が“理不尽”を感じており「倍返し」したい、やり返したいと望み、そこに痛快さを見ているという現実があるように思います。それだけしんどい社会に私たちは生きているということなのでしょう。しかしこのような「目には目を、歯には歯を」という社会の風潮、さらには「倍返し」したいという思いに抗して全く違う価値観や生き方を示した人が2000年前にいました。イエス・キリストです。イエス様は訴えます。復讐からは何も生まれないと。愛こそがすべてを変える力を持っていると語り、実際に愛を示す(愛に根差した)行動を实践されます。イエス・キリストの示された「やられてもやり返さない、愛返しだ！」これで行きましょう。

4. 聖書・祈祷

5. ゲスト・ビジター紹介

6. 誕生日・結婚祝い

7. 食前感謝・晩餐

8. 卓話 「被災者支援から学ぶ今後の災害にそなえて」

松本 淳子様(日本赤十字社 奈良支部 参事)

9. インフォメーション

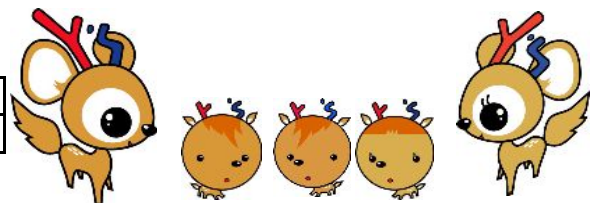
10. YMCAの歌

11. 閉会点鐘

12. 閉会

2013年10月クラブ統計

在籍会員	24 名	・	出席率算出人数	23 名
メン	14 名	・	メネット	8 名
		・	功労会員	1 名
ゲスト	7 名	・	ビジター	5 名
		/	出席率	60.9%



ニコニコ献金

10月度 16,613 円・累計 964,191 円

会長 高橋 辰夫

今こそ 現地へ 私達に出来ること！

内田 彩子

秋まで続いた真夏日や台風の影響もそろそろ収まり、底冷えする日が続いております。天候も不安定な日々が多いにも関わらずにいろいろな行事に対する皆様の奉仕のご協力ありがとうございます。奈良クラブの秋の活動もほぼ半分を終えて後半戦を迎えます。1月の新年合同例会のホスト開催までまだまだ気が置けない状況ですが、活動においては多くの作業があり、それを乗り越えられるのも会員の皆様のご協力を以て初めて出来ることだと思います。感謝と共に残りの行事において変わらぬご協力をお願い申し上げます。

12月のジョイフルクリスマスにおいてもお楽しみが待っています。ワイズ活動の理解のためにもより多くのゲストをお招きいただきますよう、皆様のご協力をお願いします。

さて、冬になればイベント事は少なくなります。その時期に腰を落ち着けて、今までの卓話や震災支援事業などで得た情報や体験を元にワイズライフを味わうための啓蒙ができればと考えております。いろんな話し合いする内容について助言をいただければ幸いです。よろしく申し上げます。



10月例会報告

岩本 章

多くのゲスト・ビジターを迎え開会されました。プログラムの内容は「アジアユースコンボケーション2013」、「東日本大震災支援事業」、二つの報告について説明されました。

は奈良クラブ、阪和部の支援を受け、7月31日～8月5日、フィリピンで開催されたアジア大会に派遣された延壽寺海人リーダーの体験談でした。孤児院訪問、環境・精神・人間の成長というテーマについて話し合い、それをまとめて発表する全体会議、タール火山見学、これらの発表を熱く語ってくれました。今も現地と出会った若者どおしの交流も有りYMCAならではの運動体を感じました。

は8月30日～9月2日にかけて仙台YMCAを拠点に、大震災復興支援として昨年から続けている、岩佐いちご農園のワーク(ビニールハウスの整備、除草作業)参加報告でした。YMCAリーダー達とワイズメン、そしてその後5人のメネットさん達が福島原発方面を慰問された体験談、そしてこれからもまだまだ続くであろう、支援について熱く語られました。

10月10・11日に「東日本大震災 被災地視察」に林成子メネット会長・林夏代メネット・岩本メネット・胎中メネットと計5名で行って来ました。

飛行機の手配は中井メン、現地では仙台YMCA総主事の村井様・支援対策室の平山様に案内していただき、ホテルは仙台青葉城クラブの加藤メネット様に手配していただきました。 本当に有り難うございました。

皆様のお力をお借りしたからこそ、有意義な「東日本大震災 被災地視察」が出来たと感謝しております。

原発事故で時間が止まった街：浪江町視察
東松嶋市響工業団地応急仮設住宅視察
東松嶋市野蒜(のびる)地区 津波被害視察
のびる幼稚園訪問

仙台市荒浜地区 津波被害視察
名取市閑上地区 津波被害視察

視察する先々で、想像を超えた津波の大きさ・被害の大きさに、ただただ手を合わせてお祈りしていました。

警察庁は、2013年(平成25年)10月10日現在、死者は15,883人、重軽傷者は6,149人、警察に届出があった行方不明者は2,652人であると発表している(ただし未確認情報を含む)。日本国内で起きた自然災害で死者・行方不明者の合計が1万人を超えたのは戦後初めてだそうです。

みなさん、機会がありましたら、被災地に行って自分の目で見てきてください。

自分が出来る支援の方法が見つけられると思います。

リタイア後入会 大いに歓迎 !!

平井洋三

「50.60花ならつぼみ、70.80花盛り」といわれる長寿社会。現役からリタイアした後の長い余生を、心の若さを持ち続けながら、いかに生き生きと社会生活を過すか大きな課題でした。

リタイア直前に30年余住み慣れた大阪千里から奈良に落下傘転居。65歳の高齢入会までの2~3年は、当時多彩だった県内各地公民館主催のいろんなサ-クルに手あたり次第参加し、飛鳥天平の歴史や万葉の講座また 古寺仏像めぐり・古道里山歩きなど大和の歴史文化と豊かな自然の魅力を満喫できる事に、この上ない幸せを感じ充実した日々を過ごしていました。

しかしその中にも、月日が経つにつれ何か心のどこかに満ち足りない思いが膨らんでいました。そんな折職場の先輩で在職中から大阪のあるクラブで、Y'Sライフを楽しんでいたYさんから「奈良にも活発に活動しているクラブがあるからぜひ紹介するよ」と誘いをうけました。65歳を過ぎた高齢入会とあって多少の

戸惑いがありましたが、当時の粕谷会長からY'Sの目的が「異分野の方達との親密な交流とこれを通じての地域奉仕・青少年の健全育成のためのボランティア活動」であることを聞き、大きな魅力を感じると共に心の渇きを満たされる思いでした。加えて、ある講座で

高齢者には、一度も若かったことのない人

リタイアまでは若かった人 今もまだ若い人の3つのタイプがあるという話を聞き、“これは行くしかない 今でしょ”と意を決したのがY'Sライフの始まりでした。

入会后13年、わが趣味だけに生きることをよしとする生活からは到底望めないであろう充実感他には代え難い。加えてY'Sライフをきっかけに他の奉仕活動にもかかわり続ける活力をも与えてくれている。ひるがえって、献身を美德としてきた日本人の姿がどんどん失われつつあるといわれる中で、Y'S活動は年齢を問わず、献身という徳をもって誰かのために生きる社会が、自分だけのために生きる社会に比べ、はるかに幸せで生きがいのあるものだ教えてくれています。

以上

YMCAサービス・ユース

11月03日(日)奈良YMCAチャリティーラン開催

11月10日(日)国際協力募金 街頭募金活動

交流

・DBC交流 御殿場クラブ、名古屋東海クラブ

・IBC交流 韓国慶州花郎クラブ、台湾台南クラブ

ファンド

・BF切手募集 一人1,400円分の切手

・じゃがいもファンドの購入 ・ファンドの啓蒙活動

EMC

・会員増強の為の広報活動 ブリテンコラム記事掲載

地域奉仕

・CS,TOF,FF,RBM,東日本震災支援の各種献金

メネット事業

・10月25日(金)通所障がい者施設「あゆみ」へ行きました

・10月29日(火)チャリティーランの準備(寄贈品の整理等)をしました

・11月03日(日)チャリティーラン当日(抽選ヒント

景品係)をお手伝いしました。

・障がい者絵画教室から出展する為YMCAに30点準備して頂いています。

11月22日(金)養護老人ホーム「奈良苑」へ喫茶ボランティアに行きます。10時からクラブファンドの切手キリをしますのでハサミをご持参下さい。

ジョイフルの劇はメネット全員出演するそうですので、心の準備をお願い致します。

奈良YMCA障がい者音楽療法クラス(ピッコロ)とジョイフルのクッキー作りは12月06日(金)9時から聖公会奈良教会厨房で行います。ご持参頂くクッキー種を忘れずに!! よろしくお願い致します。

ジョイフルクリスマスの当日例年通り、食事の準備もお手伝い致します。

お忙しい折 多くのご奉仕が有りますが、よろしくお願い致します。

日時： 2013年10月28日19:00～21:00

場所： YMCAチャペル

議題

1. 11月例会について

日時： 2013年11月10日 19:00～21:00

場所： ピカピカ

卓話： 「被災者支援から学ぶ今後の災害にそなえて」

講師： 松本 淳子様(日本赤十字社 奈良支部 参与)

2. 新年合同例会 アピールについて

阪和部各クラブ及び大阪クラブ周年記念でアピール

3. 奈良YMCAチャリティーラン 最終確認

4. 奈良YMCA国際協力募金 街頭募金

参加者：内田、濱田、佐々木、高田、高橋

5. 2月例会 卓話 日本尊厳死協会 竹内賜正様

11月の行事予定

日/曜日	行事内容
2 土	大阪クラブ65周年記念例会
3 日	奈良YMCAチャリティーラン
5 火	大阪サウスクラブ例会
6 水	大阪長野クラブ例会
10 日	奈良YMCA国際協力募金 街頭募金
11 月	奈良クラブ例会
14 木	大阪堺クラブ例会
21 木	和歌山クラブ及び大阪河内クラブ例会
28 木	大阪泉北クラブ例会

Happy Birthday

2日 前田 敏宏、6日 三枝 ひろみ、13日 穴戸 秀子

Wedding Anniversary

1日 内田 勝久・彩子、17日 佐々木 誠継・みどり

30日 胎中 廉啓・晴美

Bulletin 4

いよいよ朝夕の寒さ一層厳しい季節となりました。今月は世界中の多くの人々が待ち望む日『クリスマス』がやって来ます。

ワイズの皆様、『主が与えてくださる多くの恵みに！』感謝の祈りを共に捧げください。

【第2回奈良YMCAチャリティーラン2013(11月3日)報告！】

11月3日(日・祝)生駒山麓公園(多目的広場)にて開催いたしました。当日は、21チーム(105名)の参加者を大会ボランティア総勢95名の皆様に支えていただき盛会の内無事終えることができました。大会当日は小雨降る中参加チームの笑顔とボランティアの皆様の献身的なご奉仕に支えられ無事終えることができました。

この大会を実施するにあたりご協力いただきました。内田実行委員長をはじめ奈良ワイズメンズクラブ・阪和部各クラブの皆様、今回この大会の主旨に賛同いただいた88の企業・団体(個人協賛除く)の皆様、奈良YMCA内部協力者(スタッフ、講師、受付、ユースリーダー、リーダーOB・OG)の皆様心より感謝いたします。今回与えられました1,139,779円(2013年11月3日現在)の収益金は、障がいを持つ子どもたちの活動支援のため有効に活用させていただきます。

【ジョイフルクリスマス】

12月8日(日)に恒例の『ジョイフルクリスマス』が開催されます。今回の演目は辻野メン脚本による『桃太郎』です。11月12日(火)からいよいよ開催に向けて台本読み合わせなど練習を開始いたします。6年目を迎えました“劇団YMCA”の特別公演(リーダー扮する伝説のアイドルグループキャンディーズなど登場！)御来場お待ちしております。

次月例会予告

とき 2013年12月08日(日) 17:00～17:30

ところ 奈良YMCA チャペル

内容 12月例会

活動や事業の報告会

続いて18:30からジョイフルクリスマスを奈良YMCA体育館にて開催します。